

ルのプログラムが例示されている。

学内で図書館が行う図書館利用教育のプログラム化には図書館の現状把握、利用者のニーズの把握、教官との連携及び大学教育との関連に留意することが必要である。実施に際しては計画(Plan)し、実施(Do)して、評価(See)することが重要といえる。更に進めて、この図書館利用教育も、大学全体で行う情報教育(或いは情報リテラシー教育)の一環として実施されると効果的と思われる。そのためには、図書館と大型計算機センター、情報処理教育センター更には、専門分野の学部・学科等との連携・協力を

促進することが望まれる。

5 おわりに

附属図書館では、従来から調査研究室を設置し、学内教官の協力を得て、主として図書館資料の整備や業務の電算化等の諸問題に対処してきたが、平成8年度からは附属図書館研究開発室として、機能の充実が図られることになった[参照本誌3号]。その研究開発室要項の一項に図書館の利用方法に関することが定められており、今後に大きな期待がされることである。

外国の新聞・週刊誌が増えました

1月から新たに外国の新聞、週刊誌が増えました。週刊新聞、週刊誌は1階ラウンジに備えました。ご利用下さい。

< 日刊新聞 >

Guardian (英)

The Times に続く英国高級誌

New York Times (米)

アメリカのみならず国際的にも強い影響力を持つ新聞。世界各国にめぐらした情報網を駆使した国際ニュースに定評がある

Die Welt (独)

政治、経済ばかりでなく文化、スポーツ、芸能等多方面にわたり報道されている。読みやすい平易な文章に徹しているため、一般大衆層に定着している

Le Monde (仏)

フランスの指導的(leading)な一般紙だが、ライバル紙 Le Figaro に較べ政治的にはより中道

Straits Times (シンガポール)

シンガポール発行の英字日刊紙。特に東南アジア諸国の動向分析に重点を置く



<週刊新聞, 週刊誌>

Guardian Weekly (英)

Washington Post, Le Monde 紙と提携。分析の鋭い論評記事に定評がある

Newsweek (米)

ライバル誌 Time と甲乙つけ難い。Time より少し娯楽色が少ない

New Yorker (米)

アメリカの雑誌出版界の最良部分を代表する週刊誌

Der Spiegel (独)

定評ある政治, 社会面での国際色豊かな記事に加え, 科学や音楽など文化面にも多くのページを割いている

L'Express (仏)

Der Spiegel より硬派, より多く国内政治を扱うが, より批判的

附属図書館へようこそ

平成8年度の新入生・新院生(修士課程および博士課程)の方の図書館利用証を入学式の翌日4月12日(金)から交付します。利用証は、入学・進学の際の名簿をもとにすでに一括作成してありますので、すぐにお渡しすることができます。利用案内に挟み込んである「京都大学図書館利用証交付申請書」に必要事項を記入の上、学生証を添えてお申し込みください。下記期間中は新入生・新院生を対象とした利用証交付カウンターを設置します。

期間：4月12日(金)～4月26日(金)

9時～17時

(土・日は10時～16時45分)

場所：附属図書館1階

また、教職員、聴講生、研修員などの方の新規発行や在籍期限更新にもなう再発行の申請・

交付も随時インフォメーションカウンターで受け付けています。こちらは発行までに1週間程度かかります。

時間：月～金 9時～16時45分

土 10時～11時45分

13時～16時45分

日 休止します

場所：附属図書館1階

なお4月から、入退館機の更新にともないバーコードの付いていない利用証では入館ができなくなりました。まだ利用証の交換をされていない方はすみやかに交換をお済ませください。附属図書館1階の特設カウンター(4月26日まで)、インフォメーションカウンターで受け付けています。

貸出・返却・入庫検索時間の変更について

平成8年4月より、工学部化学系雑誌の地下書庫への移動に伴い、現在より利用が制限されることのないようにとの希望もあり、また工学

部以外の利用者からも、書庫の利用時間の延長の希望があることから、貸出・返却・入庫検索を、以下のように変更いたします。